

KSKR

土曜日



NPO 法人つくし通信 №.71号

目次

1. 表紙
- 2.~3. 卷頭言
4. きょうされん全国大会
- 5.~6. 活動報告
7. 冬のボーナスキャンペーンのご報告
8. 新メンバー紹介
- 9.~12. メンバーのつぶやき
13. 会費納入・寄付のお礼・お願い
14. 今後の予定・編集後記

2026 年の年頭に 一精神障がい者の価値についての「粗考」

NPO 法人つくし 理事長 遠山照彦

会員、利用者、職員、役員、支援者の皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年も NPO 法人つくしに対しまして、多大なるご支援ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

本年も、2026 年度の障害福祉サービス報酬の臨時改定を含めまして、いろいろな課題がありますが、それらを乗り越え NPO 法人つくしが地域における精神障がい者の就労継続支援の場・居場所・よりどころとしてますます発展していくように、皆さんと協力協働して活動していきたいと思っております。どうか今年もかわらぬお力添えをお願いします。

昨年 4 月から、法人の運営システムが刷新し、正副施設長(=業務執行理事)で構成する「事務局会議」が運営の中心に座り、「運営会議」(正職員等で構成)と密に連携して、現場職員中心の法人運営をおこない、それを理事会がサポートする、新しい運営システムとなりました。より現場の声が法人運営に反映されるようになったを感じています。

ただ、長期間にわたる新職員募集にたいして応募者がなく、現場の人員体制はこれまでになく厳しい状態が続いています。そんな中でも「事務局会議」を中心として、職員・利用者は本当によく奮闘しております。

人員体制の厳しさは、NPO 法人つくしに限ったことではなく、全国の就労継続支援事業所に共通したものです。根源は、政府による長年の福祉・社会保障抑制政策により、福祉・介護・医療職の賃金が極めて低値に据え置かれてきたことにあります。

また、「障害者自立支援法(2006)」(現「障害者総合支援法(2013)」)の施行とともに、障害福祉事業への「営利追及型の株式会社」の参入が可能となりました。「営利追及型の株式会社」の参入により、障がい者の権利擁護や支援という考え方を基盤に障害福祉事業を運営するものではなく、会社の利益第一に事業を行うことが可能になりました。そして最近、株式会社立の事業所が急増した感があります。株式会社立すべてが不良な支援事業所とは言いませんが、利潤追求のためには「労働能力の高い」・「毎日来れる」障がい者を優先に「採用」(利用者と)する傾向は否定できません。逆に収益増のために、中高年のうつ病などのある人など(より軽症な精神障がい者)をターゲットに、送迎つきで来所させ、来所するだけで 1 回 500 円程度を支給して、利用者を集めて(集客)いる事業所もあります。これは利用者本人を「顧客」として扱い、その人のリカバリーへの意欲を削ぎ、その尊厳を損なうものではないかと考えます。

こうした潮流の中で、「労働能力の高い者」、「会社に収益をもたらす者」の「価値」が高くなり、「労働能力が低下している者」、「収益性の低い者」の「価値」が低くなる、という価値観をもたらしています。長年の闘病生活により、処理・作業速度が低下した人は、闘病生活を送ったことにより身につけた人間性の豊かさや経験知を評価されることなく、「労働能力」・「生産性」という単一のふるい=「価値基準」の前で、「価値」を低くみられるようになります。

本来人間の価値は、いろいろな側面から測られるべきですが、この単一の「価値基準」は、新自由主義の下でむき出しになった「労働生産性が高いかどうかでその人間の価値を決める」ことと一致します。高齢者は労働生産性が低いので、(政財界にとって)お荷物だ、労働生産性が低い人は貧困層に落ちればよい、自力で復興できない災害被災者も貧困層に落ちればよい、憲法違反であっても最高裁で違憲判決がだされてもあくまで生活保護費は削る、財界の利益を目減りさせる福祉や社会保障には国費・税金ができるだけ出さないようにする・・・なども同じところから発生する「価値観」です。

そして困ったことに、この「価値観」がメディアや SNS を通じて世の中に拡散していることです。もちろん中には、「人間の価値は労働生産性で測れない」、「生きていること存在していること自体が価値だ」、「苦労しつつあきらめずに前向いて少しずつ前進していることこそが価値だ」などの反論もみられますが、情報上では圧倒的に前者の方が目立っています。もともと精神障がい者の多くは、青年期から「自分は能力不足でひとに迷惑をかけている」、「自分の価値に自信がもてない」と思ってきたことと思われます。そこに世間から前述のような悪意ある「価値観」の寒風が吹けば、ますます委縮しさらに自信を失ってしまいます。

障害者の就労支援の出発点である、草の根の共同作業所(設立)運動(1970 年代後半～2000 年代・障害者自立支援法施行)には、障がい者を一人の尊厳ある存在としてとらえ、その生存権・人権を守ろうという精神が貫かれてきました。共同作業所時代から発展して今日も活動している就労支援事業所は、皆この精神を根幹に据えていることと思います。

時流に流されず、新自由主義的な人間の「価値観」(労働生産性が高い者が価値がある)に対抗し、人間の価値は多様な側面をもっていて、生きていること存在していること自体に価値があり、苦労しつつ少しずつ前進していることこそが価値がある、という価値観を思想基盤として再確認しつつ、障がい者福祉・支援活動を創っていくことの大切さを痛感するこの頃です。

末筆となりましたが、皆さまのますますのご健勝を祈念申し上げます。

(2026.1)

きょうされん全国大会

10/17（金）と 18（土）に奈良県奈良市で開催された、きょうされん第 48 回全国大会に利用者さんと 3 名で参加してきました。きょうされんは旧名が「共同作業所全国連絡会」で、つくしハウスも加盟し、様々な学習や運動に参加しています。その全国の加盟事業所から利用者・職員等が集い、学習や交流を行うのが全国大会になります。

1 日目は、「被爆・戦後 80 年 障害のある人と戦争を考える～人権と平和が花ひらく未来をひきよせるために～」という特別シンポジウムに参加しました。日本原水爆被害者団体協議会事務局長の濱住治郎氏による講演と、きょうされん加盟事業所の利用者等を交えたシンポジウムという内容でした。被爆者の方々が体験された生々しいお話や、ノーベル平和賞受賞式での様々なエピソードなど、なかなか聞くことの出来ない貴重な話を聞くことが出来ました。「核兵器と人類は共存できない」「核兵器は人類の生存と福祉に重大な影響を及ぼす」ということを、全体で共有することが出来たと思います。

2 日目は、「精神障害のある人への支援」の分科会に参加し、「精神障害のある人の人権を考える」をテーマに学びを深めました。各グループ 5~6 人でグループワークを行う形式で、私を含めつくしハウスの利用者 2 名もそれぞれグループに分かれて参加しました。全国の加盟事業所職員、利用者、関係機関職員等が参加する中で、利用者 2 名も「精神障害への偏見をまだまだ感じる」等、それぞれの思いをしっかりと発言されていました。

今回の大会を通じてたくさんの学びがありましたが、「障害者は、平和でなければ生きていけない」という言葉の意味を、改めて噛みしめる機会となりました。次回大会は大阪で開催の予定です。またみんなで参加出来ればと思っています。

（福万）

忘年会

12月20日（土）につくしハウスの忘年会が開催されました。職員も含め総勢28名の方が参加されました。今回の会場は京都駅八条口近くにある新都ホテルのレストランでした。この日は暖かな晴天とお天気にも恵まれ、また皆さんの協力のおかげで会場までの移動もスムーズにできました。お腹一杯ランチビュッフェを堪能した後には、実行委員会さんから参加者の皆さんにクリスマスプレゼントが渡されました。最後にクリスマスツリーの前で皆で記念写真を撮り、楽しい会もお開きとなりました。

（中村）

お正月開所

2026年の始まりは、つくしハウス恒例のお正月開所です。

1月3日(土)、前日の雪の予報でみんなが来れなかったらどうしよう?と不安に思っていましたが、一夜明けると、とっても良いお天気でした。

みんなが揃い始めたら、紅白歌合戦を鑑賞です。「つくしで観ようと思ったから、大晦日の紅白は観なかった」との声が複数のメンバーさんからありました。1番盛り上がったのはやっぱり「世界のYAZAWA!？」

そしてお待ちかねのお昼ご飯。メニューは、豚汁とご飯の食べ放題、鶏むね肉のピカタ。大きなお鍋の豚汁が綺麗に無くなりました。作った私も嬉しかったです。みなさん大満足で、まさに「時間よ～止まれ～」なひとときでした。最後はお土産に福餅までついて、大盤振る舞いの新春開所でした。来年はどんなメニューにしようかな?

（羽賀）

♪ 今年も上京サロンで文化祭を開催しました ♪

今年も 11/13、14、17、18 の 4 日間、サロン文化祭を開催しました。

やはりビンゴが人気で、途中プレゼントが足りなくなり追加で買い足しました。

作品展示では「あみものサロン」参加者のエコタワシやあみぐるみの他、自作の川柳、書など 8 名が出品されました。「こころ」が入る漢字ばかりを集めた分厚い書道ノート、飼い猫の写真をファイルにまとめた写真集、など長い時間をかけて制作された作品も展示され、みなさん手に取ってページをめくっておられました。

最終日のパフォーマンスは 2 名出演され、ギターとフルート演奏を披露されました。ほぼ満席の観客に緊張されたためかなかなか音が出ない場面もありましたが、客席からの「大丈夫！」との応援を受けて頑張っておられました。

上京サロンはどなたでも利用でき、ゆっくりのんびり過ごしていただけます。美味しいコーヒーなどもリーズナブルなお値段で用意していますので、気軽にご来店ください。

（関口）

▲ はんなり上京サロン クリスマス会 ▲

12 月 12 日（金）に今年度のはんなり上京サロンのクリスマス会が開催されました。まずはケーキと飲み物を楽しみながらの歓談タイム。その後は今回のメインプログラムであるマジッククラブ遊のアッキーさんによるマジックショウを堪能されました。カードやスカーフを使った様々なマジックを楽しいお喋りも交えて披露していただき、最後には自分でもできる簡単なマジックに参加者のみなさんも挑戦されました。

恒例のお楽しみ抽選会でプレゼントを貰われた後は、これまた恒例の「きよしこの夜」を歌いながらのキャンドルサービスで幕を閉じました。

（中村）

✉ 2025 年冬のボーナスキャンペーンのご報告 ✉

2025 年冬のボーナスキャンペーンにご協力いただきまして誠にありがとうございました。今回は 179 件のご注文をいただき、売上額は 217 万 5,648 円となりました。目標金額の 230 万円には惜しくも届きませんでしたが、メンバーさんに多くのボーナスを支給することができました。

また、今回も売り上げの一部を「きょうされん災害支援基金」への寄付と、「京都市こころのサポートふれあい交流サロン はんなり上京」の運営資金に充てさせていただきました。重ねて、感謝申し上げます。

今回はイチオシ商品として取り扱わせていただいた「かぼす胡椒」と「あかねっこが作った野菜たっぷりスープ」が大変好評で多くのお客様からご注文をいただきましたが、残念ながら途中で品切れとなりすべてのお客様にお届けすることができませんでした。改めてお詫び申し上げます。

このボーナスキャンペーンは、まず毎回「イチオシ商品実行委員会」を開いて、イチオシ商品実行委員のメンバー・職員が全国各地の様々な商品を提案し、その中から選りすぐりのイチオシ商品を決めるところからスタートしています。つくしハウスのボーナスキャンペーンを通して「こんな素敵なお商品を作っている福祉施設がある」ということを、より多くの方に知ってほしいというメンバーさんの思いが込められています。次回夏のボーナスキャンペーンでも、皆様の心がときめくような♦ そんな商品をお届けできるようメンバー・職員一丸となって頑張りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(井手田)



新メンバー紹介 *

昨年6月よりつくしハウスに入所したN. Sです。Sさんが2人なのでノリさんと呼ばれています。雄ネコのノリスキーと暮らしています。

周りが気をつかっていただいて、あまり緊張しなかったです。まだできない作業もありますが、あせらず、ガンバっていこうと思っています。

現在67歳なので70歳までは何とか通所しようと思っています。

やっぱり頭を使わないと、ボケるので、リハビリです。

たいして役に立ちませんがよろしくお願いします。

(N. S)

あけましておめでとうございます。

去年八月から3Fメンバーに入ったKeikoと申します。

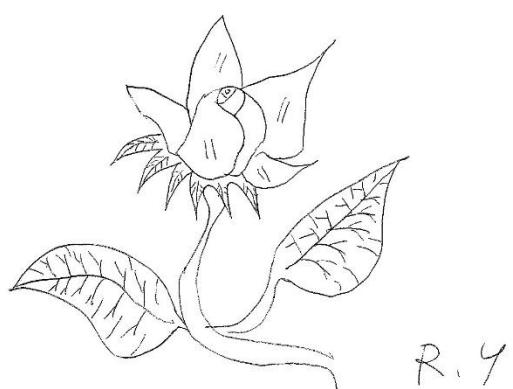
皆様のお力を借りし、自分の居場所を作りたいと願って居ります。

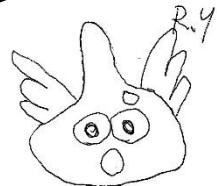
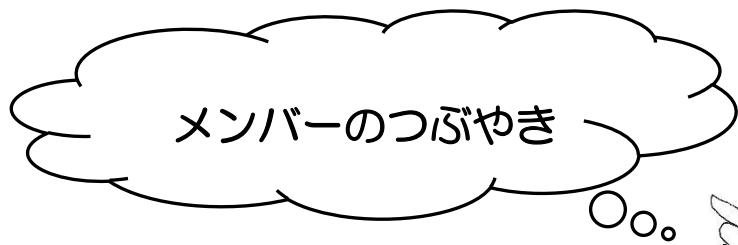
もうすぐ、大寒 冬の寒さの絶頂期

春のふきのとうの足音を楽しみに、頑張ります。

合掌

(Keiko)



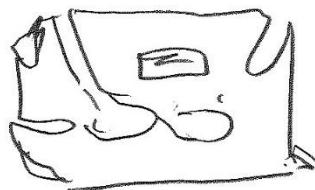


夏の暑い日

氷をガリガリボリボリかじってたら
えらいかたい氷やな?
かまれへんし なんでやろ?
えっ うそ! 歯やんか!
抜けてしもたんや!
ショック! ショック!

(アヤ)

イフカウタガチャレロ
アシメル。



蒸るな..入

蒸し..入

蒸し..液は流しちゃダメ

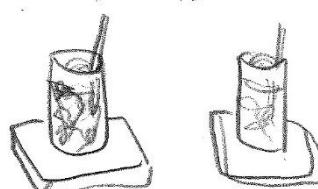
液は、蒸し..跡流れり!

次の液は、きっときっと

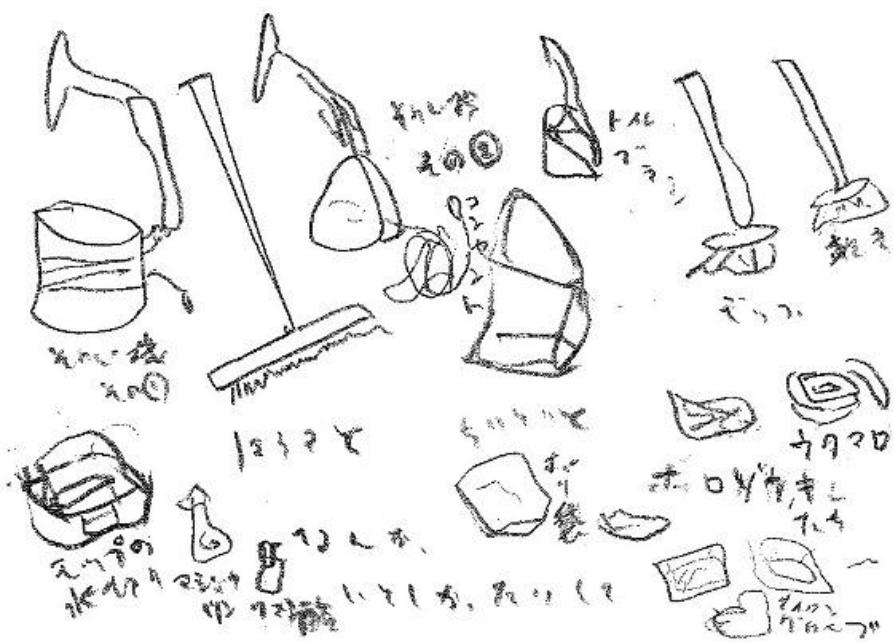
~~蒸し..瓶瓶に詰めてひる!~~

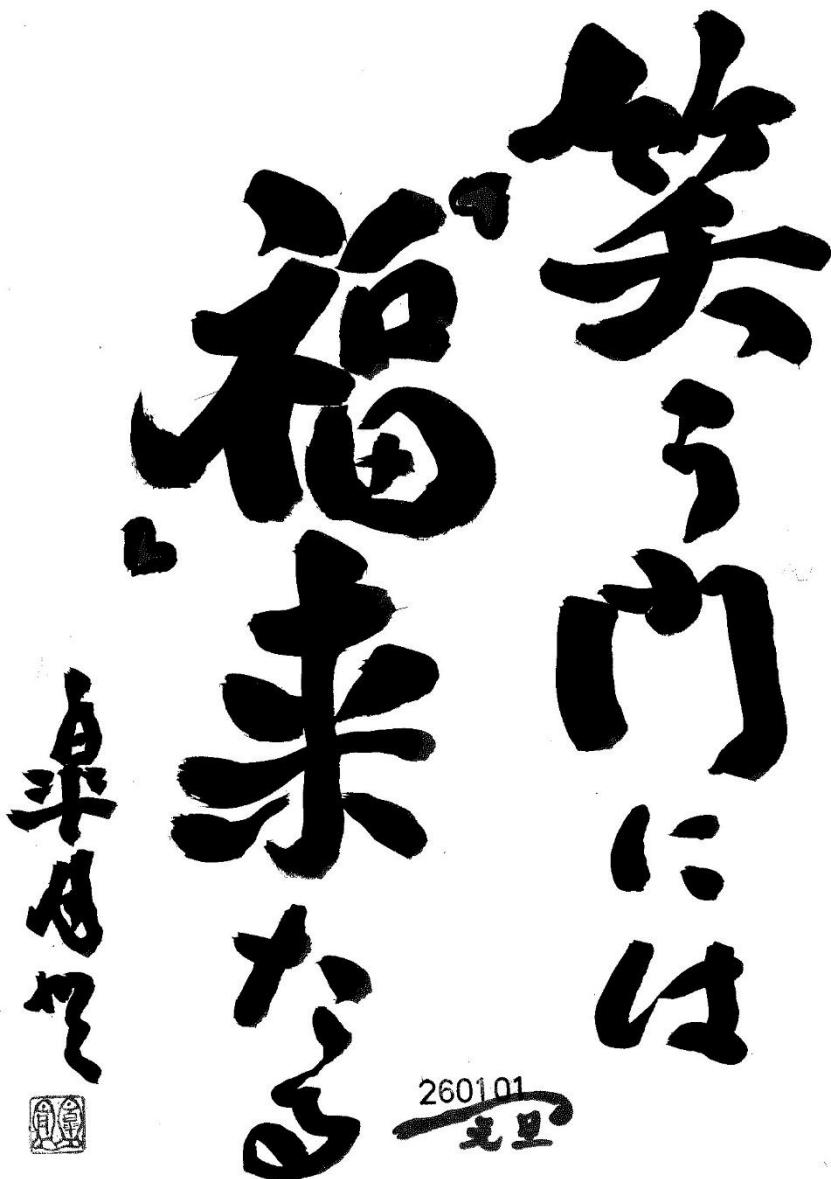
~~K.A~~ ~~あ~~

コカツ-ラン
ジンレジカエール



お~い
アマヨ。





師走

昌彦

冬至

昌彦

手袋

昌彦

火用心の

昌彦

★2025/10/1～/12/31 にご協力頂いた方です。（順不同）★

★総額 48,525 円★

正会員の皆様	賛助会員の皆様	ご寄付・物品を頂いた皆様
つばき医院様/高城佳代子様/吉田英樹様/福田寛様/つくしハウスご家族の皆様/他 会費総額：14,000 円	葛西繁様/中川美智子様/京都市職員労働組合様/三宅百合様/大石千絵様/井上・吉田総合法律事務所様/つくしハウスご家族の皆様/他 会費総額：15,000 円	葛西繁様/大野研而様/三浦次郎様/高城佳代子様/遠山照彦様/馬場備子様/つくしハウスご家族の皆様/他 寄付金総額：19,525 円

※会員総数 正会員：42 名 賛助会員：39 名

※正会員の方で賛助会費をいただいた方につきましては、ご寄付として掲載させて頂いています。ご了承下さい。

2025 度 NPO 法人つくし 正会員費・賛助会費納入 ご協力のお願い

NPO 法人つくしの財政は、皆様方の温かいご協力とお力添えにより支えられています。この場を借りて心からお礼申し上げます。正会員費・賛助会費の納入にご協力ををお願い致します。

正会員費 2,000 円（年間）
賛助会費 1,000 円（一口）

※同封の振込用紙をご利用ください。口数、金額をご記入頂けますようお願い申し上げます。

また、『土曜日』にご氏名を掲載することがございます。お手数ですが、（可・不可）のいずれかに○印をつけて頂ければ幸いです。

記入例： 正会員費 年会費（年 2000 円）1 口 ¥2,000

賛助会費 会費（1 口 1000 円）1 口 ¥1,000

寄付金 ¥2,000 など

※すでにご協力頂いている方につきましても、振込用紙を同封させていただいておりますので、ご容赦ください。誠に勝手ばかり申し上げますが、ご寄付を頂ければ幸いと存じます。

＜今後の主な予定＞

- 2月21日（土） レクリエーション開所
3月14日（土） レクリエーション開所

NPO 法人つくし つくしハウス
〒602-8141 京都市上京区堀川通丸太町上る上堀川町 114
TEL 075-366-6064 FAX 075-366-6065
Email onikai@iaa.itkeeper.ne.jp
HP <http://tsukushihouse.org/>

上京こころのサポートふれあい交流サロン
〒602-8148 京都市上京区丸太町通堀川西入西丸太町 185 番地
京都二条ハイツ 202
TEL/FAX 075-755-7017

編集人 NPO 法人つくし
〒602-8141 京都市上京区堀川通り丸太町上る上堀川町 114
発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺真田山町 2-2 東興ビル4階 定価 50 円

＜編集後記＞

10月から12月にかけ、ボーナスキャンペーンや各種受注事業で、利用者・職員ともとても忙しい日々を過ごしてきました。年末の忘年会ではみんなで労をねぎらい、年末年始の休みでリフレッシュして、新たな年をスタートさせています。今年もまたバタバタと忙しい日々が待っていると思いますが、つくしハウスみんなで力を合わせ、時には一休みしながら、楽しく一年を過ごしていきたいと思います。

今号もお読み頂き有り難うございます。皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。よろしくお願ひ致します。

（福万）

